

第2回  
グリーンファイル  
作成委員会

20210527@矢ヶ部医院 ZOOM

矢ヶ部伸也

# 第1回GF作成委員会要約

- 療養環境の選択肢として在宅を協働で提供する
- 方針、方向性を共有する文書を作成して多職種で共有する
- 医師の指示はすべての瞬間に正しいわけではない。現場で状況に応じて対応する。その方向性をこのファイルで共有する。

# 本日のトピック

うどん

# 岐阜 総合在宅医療クリニック



市橋亮一先生

# ある訪問看護師の行動

- 患者さん宅（独居）に訪問
- 空腹だが食べ物を準備する力がない
- 冷凍庫には冷凍うどん
- 鍋で調理して配膳→食事

後でこの行動が大問題に・・・

# ここでみなさんに質問です

- うどんを作った看護師さんの行動に
- 賛成
- 反対
- またその理由

※賛成、反対は自由ですし、正解はないので、好みで発言してもらって全く構いません。評価するものではありません。みなさんそれぞれの考えから「医療倫理」について考察するためです。

# 岐阜での対立

- 「うどんを作るのは訪問看護師の仕事ではない」
- 「困ったならうどん作るくらい良いじゃない」
- 市橋先生は仲裁をする立場に

# 正 と 正の対立

- 看護師の業務をきちんと秩序付けて精進する
- 人道的な観点から業務の範囲にこだわらない
- どちらも間違いではない



# 医療現場での価値観の対立

- 看取る
- 救急車を呼ぶ
- どちらも間違いではない

# 価値観の対立に寄り添う

- 患者さんにとっては命をかけた決断
- 医療者・介護者の価値観も問われる
- 皆さんは何か大切だと思えますか？

# 一番大切にしていること

- 迷ったときの決断の背景に置けるもの
- 在宅医療の中で皆さんそれぞれが最も大切だと思ふことを教えて下さい
- 言葉で・技術で・人付き合いで・経済的なことで
- 何でも良いです

# 矢ヶ部なら

- 言葉 「好きなように 楽なように 後悔しないように」
- 永井先生の「楽なように やりたいように 後悔しないように」の亜型

# 価値観の方向性の指示

- 看取りにする、最期まで救命など
- 本人、家族とよく話し合って決める
- 決めただからといって絶対ではない
- 価値観のゆらぎを現場で感じる必要性

# 何が大切かby矢ヶ部

- 本人が安心できること
- 家族が後悔しないこと
- 医療・介護者が後悔しないこと→振り返り

# 医療倫理

- 正解はないので経験が必要 経験共有を
- 現場で困らないように予め考えておく
- スタッフ一人ひとりが身につける

# 本日の各論

- 各論で取り上げる話題を挙げる
- 医療倫理
- 褥瘡
- オピオイド
- 排泄
- リハビリ
- 困難事例
- 成功事例



# 各論で何を取り上げるか

- 募集中！
- まずはこの場で提案を
- 後で思いついたら
- [shinya@yakabe-iin.or.jp](mailto:shinya@yakabe-iin.or.jp)まで

# 新型コロナウイルスワクチンについて

- ワクチンは必ず打ちましょう
- 打ちたくないひとは打たない自由はありますが、打ったほうが良いです。
- ワクチン打ちたいのに打てない人がいるのは医療の恥です。
- もしワクチン難民がいたら当院で協力できることはします。